

平成25年6月 三種町議会定例会

平成25年6月三種町議会定例会が6月12日から14日の会期で開催されました。平成25年度三種町一般会計補正予算（案）など議案等17件を審議し、原案どおり可決されました。開会初日に三浦町長が行政報告を行いましたので、その主な要旨と審議された主な議案についてお伝えします。

行政報告

町民荣誉賞授与式について

世界ボクシング評議会（WBC）スーパーフェザー級王者となった、本町出身の三浦隆司氏をたたえる町民荣誉賞授与式が、6月2日に八竜改善センターで開催され、三浦選手の偉業に対し、賞状と記念メダル等を授与しました。また、授与式の後は、式典会場から三浦選手の地元である、浜口地区でのパレードも行われ、沿道では大勢の町民が三浦選手を出迎え、熱い祝福の声援を送っていました。

なお、翌3日には県正庁で県民荣誉章顕彰式がとり行われています。個人での県民荣誉章授与は14人目で、能代山本関係者では、平成元年に受賞したプロ野球の山田久志さん以来2人目の受賞者となります。

三浦選手の今後益々のご活躍を祈念するものです。

元気づくり支援事業について

今年度は45団体から申請があり、公開審査会に出席した44団体より、それぞれの元気づくり事業計画について熱く語っていただきました。その結果、44団体全てが合格の目安である6割以上の点数を獲得しましたが、予算枠の関係から33団体が採択となったところです。

しかしながら、審査委員長から「各団体とも事業内容、プレゼンテーション能力はすばらしく、地域の元気が三種町の元気になる。予算枠から外れた団体の点数は僅差で、いずれも捨てがたいので救済をお願いしたい。」との意見が出されたほか、その後も、同様の意見・要望が多数あり、町としても「自分たちの地域は自分たちで元気にしたい」という地域の熱意に応えるため、予算を追加補正し可決いただいたところです。

この追加採択分を含め、総事業費が約1,350万円の内町補助金は775万8千円となっており、各団体ともに、昨年以上に地域が元気になるよう頑張っていただけのもとの期待しているところです。

クアオルト研究会について

温泉を活用した地域づくりの一環として、5月15日に「クアオルト研究会」を立ち上げ、1回目の会議を開催したところです。

会員は、町観光協会や温泉施設の役員など民間の方が6人、町職員が5人の計11人です。会議では、会長に町観光協会の木田章さんを選出したほか、毎月1回の研究会を開催することや、本町の資源である温泉や自然、食などを活用して、住民の健康福祉の増進を図るとともに、温泉施設を核とした滞在型の療養・保養・休養・ウエルネスマニエールの開発に取り組むなど、「三種型クアオルト」の確立を目指し、具体的な施策を研究することになっています。

今年度は、具体的なメニューづくりなどのほか、先進地視察や講演会なども組み入れ、クアオルトについて勉強しながら進めます。

平成24年度町税の収納状況について

平成25年5月20日現在における平成24年度分の町税収納率は、町民税が前年比0.04%増の97.54%、固定資産税が0.51%増の96.11%、軽自動車税が0.19%増の98.09%、国民健康保険税が0.32%増の94.22%となっており、各税目で増加となっています。

過年度分につきましては、平成25年3月31日現在の収納率を前年同期と比較しますと、町民税が2.88%、固定資産税が1.82%、軽自動車税が3.08%、国民健康保険税が0.09%それぞれ減となっています。

これは、滞納処分を行うことができない事情のある、固定化した滞納者が依然として多いということが、大きな課題となっておりますが、これまで同様、年ねん増え続ける滞納の解消策として、収納強化を図るべく平成22年度に発足した「秋田県地方税滞納整理機構」への引き継ぎ予告などを活用した納税促進と、収納対策室による実態調査を踏まえた滞納処分等を実施するなど、引き続き粘り強く、厳しく対処して参ります。